

里庄のせいめいさん展

かつて「里庄のせいめいさん」と言われた偉人がいました。「植物学者」「鉱物学者」「動物学者」「民俗学者」「博物学者」……。マルチな才能を発揮した知られざる偉人 佐藤清明さんの業績に光を当てます。



キクザクラ 昭和天皇に献上した。

日時：平成 29 年 7 月 1 日(土)～平成 29 年 8 月 30 日(水)

場所：里庄町立図書館 1 階フロア

内容：佐藤清明さんの年譜や主な著作を展示します。日本で初めての妖怪事典『現行全国妖怪辞典』、『天然記念物調査録 全 50 巻』柳田国男からの書簡の写真など初公開のものばかりです。

佐藤清明（さとう きよあき、1905－1998）浅口郡里庄町里見に生まれる。博物学者。活動は博物全般に及び、化石・岩石・鉱物・昆虫・動物などの標本と文献の収集及び調査研究を生涯にわたって続けた。県内の生物関係の文化財調査を行った。民俗学にも興味を持ち、日本で初めての妖怪事典『現行全国妖怪辞典』（1935年 中国民俗学会発行）を著した。植物学者の牧野富太郎、民俗学者の柳田国男、博物学者の南方熊楠、昆虫学者の門前弘多などと親交があった。昭和 55 年勲五等双光旭日賞 受賞。

主な著作

『博物科叢話』1932 文教書院

『岡山県博物風土記 1, 2』1948 山陽新聞社

『岡山県重要文化財図録 2』（天然記念物篇）編集 1954 富士出版社

『現行全国妖怪辞典』（方言叢書）1935 中国民俗学会発行

『岡山県植物目録』（岡山県博物誌 1 菊花の部 リムルス第 4 巻）1937

『カブトガニ』 リムルス学会編 1932

『天然記念物調査録 全 50 巻』1954～1954

『植生図・主要動植物地図 33 岡山県』1970 文化庁